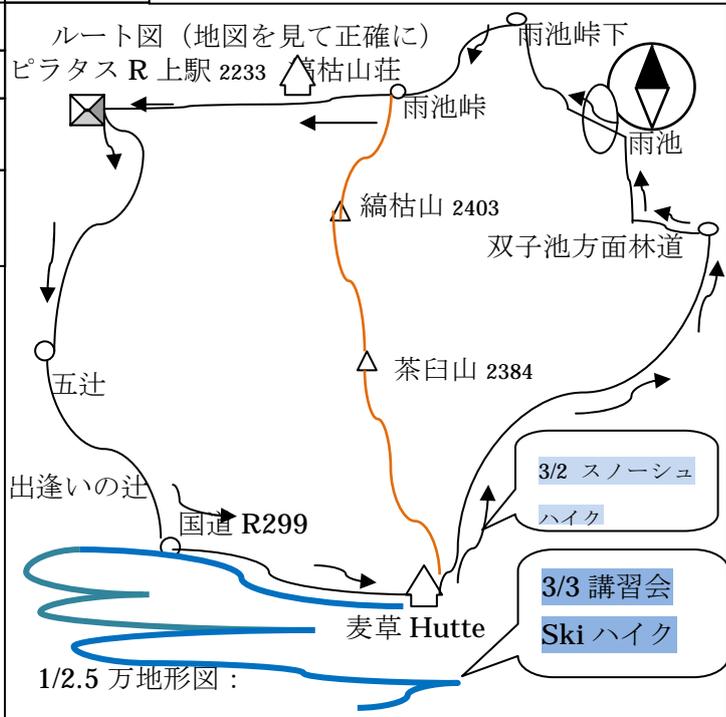


3 月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書		報告者	油井 武	参加 メンバー	CL: 油井 武 SL: 青山 武 三矢十三世、佐溝直彦 塚本英吾
		報告日	3/04		
山城	北八ヶ岳	山行日	23年 3月2日 (水) ~		
山名	麦草ヒュッテ周辺		23年 3月3日 (木)		
山行目的	スノーハイクとテレマーク・スキー講習		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



3/2 曇り
5:00 刈谷・大府発
9:16 R299 ムルヘン冬門着
9:54 スノーモービルで麦草へ
10:40 麦草ヒュッテ発
11:25 大河原林道
11:35 同上雨池へ分岐
11:48 雨池着・1本
12:00 雨池発気温-7℃
12:12 双子池方面林道へ
12:30 同上雨池峠下分岐
13:00 雨池峠-10℃
13:20 縞枯山荘 2233m
13:45 ピラタス R 上駅
14:24 茶臼山分岐五辻
14:28 五辻吾妻屋
14:59 出逢いの辻
15:06 国道 299
15:50 麦草ヒュッテ着

3/3 晴れ
9:00 テレマーク・スキー教程
講習会~11:00
講師: 島立正広氏
(麦草 Hutte 主人)
於: 麦草ヒュッテ上の
特設ゲレンデ
スキーセット借用
11:00~12:00 昼食
12:00 麦草ヒュッテ発
ムルヘン街道冬ゲートまで滑
降~13:25 着
13:50 ゲート発
14:30 縄文の心着
15:30 同上発
19:00 刈谷・大府着

〈山行報告〉3人が刈谷2人が大府を出発して、北八つムルヘン街道の冬閉鎖ゲートへ到着したのが九時。早速待っていたスノーモービルに、荷物と体を預けたら、小雪の舞う中をぶっ飛ばし26分で麦草ヒュッテに到着。部屋にも上がらずにスノーシューに履き替え、ストレッチ体操をしてスノーハイクを開始した。昨年同期に2度の土地勘があるものの、雨池へのルートは全員初めての事、雪が例年より多いとのこと、慎重に標示テープを確認しながら進む。大河原林道へ出て道標に従って左折し、10分ほどで雨池方面への道標あり右折する。雨池へは小屋から1時間8分で目標通り。P=42~39。凍結した湖上を一直線に対岸に渡り双子池方面への道標を見つけ林道へ出る。それを右折し18分で雨池峠下の分岐へ着く。そこを左折して雨池峠に向かう。峠まで本日ももっとも急こう配坂を30分登ると縞枯れ山への分岐点にでた。雪を冠った樅の樹間を抜けると縞枯れ山荘。ちょっと立ち寄るが休暇の看板に加え小屋番人の顔色悪しく、早々に坪庭へ向かう。ピラタスロープ上駅に予定通り3時間で到着し写真を撮る。縞枯れ山の南斜面を等高線にそってしばらく進むと、風も穏やかな雪原に出る。皆が写真を撮る。ここで1首「見たとおり写らないのは雪景色、樅に白樺綿帽子冠り」更に「雪晴れて樅の樹間に茶臼山、うしろ縞枯れ右茅野の里」。五辻の吾妻屋で一服して、出逢いの辻を過ぎR299へ出たら後は一直線。今朝モビルで8分の所を、44分かかったが最終の麦草ヒュッテには目標時間に到着した。(所要5時間10分)

確認
(リーダー)
油
23/03/04
井
作成
(報告者)
油
23/03/04
井

3/3 九時からテレマーク・スキー講習会。くるぶしまでの短靴の先端裏に設けられた3個の小穴に、ソリ側に付けられた金具の3本ピンに嵌め、ワンタッチでクランプすると即、かかとの上がるノルディックスキーとなる。ブルークファーレンから始めるが靴に慣れない為全員何度も尻もちを。アルペンと違って谷側ソリを30cm前に出して斜滑降。ターン
〈リーダー所見講師曰く、アルペンスキーに慣れた人達には、その癖が邪魔して、要領が掴める迄時間を要すと。山スキーではノルディック技術も使えると、雪質や寒暖による雪の状態の変化又は、地形の変化に応じ臨機応変に対処可能となるので、更に安全度が増し、例えば重量物を持って、安全に目的地へ到達できることになるのでは是非身につけるとよい。どのアドバイスを頂いた。楽しい旅を多謝。

《フリースペース》

3/2 北八つスノー・ハイク
麦草ヒュッテ帰着時のスナップ
撮影: 佐溝直彦氏